

西之表市「種子島しおさい留学」

西之表市教育委員会



第1回交流会「クルージング・魚釣り・魚さばき体験」



第2回交流会「芋ほり・料理体験」

▼ 特徴・PRポイント(西之表市ってこんなところ)

西之表市「種子島しおさい留学」は12年の歴史があり、これまで延べ184人の留学生を8つの小規模校が受け入れています。主な特徴は以下のとおりです。

① 4月に歓迎会、7月と10月に留学生交流会、3月に終了式を実施しています。

※ 第1回…保護者も参加 第2回…地元の学校の児童とも交流

② 少人数(複式)学級でガイド学習を中心とした主体的な学習をしたり、個別指導を受けたりすることができます。学校全員で活動することも多くあります。また、各学校それぞれ特色ある学校行事・地域行事を通して、西之表市の自然や文化を体験することができます。

▼ 留学生の声

【Aさん】

2年間の親子留学で学校の友達・地域の方々とたくさんの思い出ができました。6年生なので留学は終わりますが、種子島に残り、将来も種子島で働きたいです。

【Bさん】

里親留学をしています。里親さんと一緒に海に行ったことが心に残っています。見たこともないような青い海にみんなで飛び込んで遊んだことは一生忘れません。

▼ 費用負担・補助等

1 親子留学

- 市から留学生に1人あたり4万円の補助金が出ます。
- 家賃は3～5万円程度です。別途、光熱費、浄化槽代、自治会費、テレビ共聴費等がかかります。

2 里親留学

- 市から里親に留学生1人あたり4万円の補助金が出ます。
- 実親から里親に委託料として1人あたり4万円支払っていただきます。

3 孫戻し留学

市から祖父母へ留学生一人あたり4万円の補助金が出ます。

▼ 条件

- 1 市外に在住する小学2年生から小学6年生までの者。ただし親子留学、孫戻し留学は小学1年生から小学6年生までの者
- 2 地域の自然や環境、小規模校での学習の意義を理解し、向学心のある者
- 3 豊かな体験活動と相互交流を通して、第二のふるさとを求める者
- 4 長期間親元を離れて生活する困難さや里親の教育方針を理解し、かつ、受け入れることができる者

▼ 学校 HP(8つの小学校で留学生を受け入れています。)

	上西小	国上小	伊関小	安納小	現和小	安城小	古田小	住吉小
児童数	23名	27名	10名	13名	31名	15名	19名	34名
教員数	8名	7名	7名	6名	8名	8名	6名	9名



▼ 問合せ・アクセス

【問合せ先】

西之表市教育委員会 学校教育課

電話：0997-22-1111

メール：kg-kanri@city.nishinoomote.lg.jp

【アクセス】

高速船乗り場から西之表市役所まで車で3分

種子島空港から西之表市役所まで車で30分



〈しおさい留学 HP〉

南界小学校 うみがめ留学

中種子町教育委員会



▼ 特徴・PRポイント(南界小学校ってこんなところ)

南界小学校は開校152年の歴史と伝統の中で築かれたよき校風を大切にし、さらに新しい伝統を創造していく使命と責任を自覚し、意欲と活気と潤いに満ちた「地域と共に伸びる楽しい学校」づくりに努めている学校です。

この度、令和8年度から中種子町内小学校で3校目の「うみがめ留学校」に仲間入りした学校です。南界小学校は、豊かな自然と心温まる地域の皆さんと交流する中で、充実した学校生活を送ることができます。また、校区内には日本一と言われる豊受神社の大ソテツや世界最古級の落とし穴の立切遺跡・種子島で現存する住宅で最古の住宅の古市家住宅など、見所がたくさんあります。

歴史の詰まったこの南界校区・南界小学校で、よき出会いをお待ちしております。

▼ 留学生の声

令和8年度から募集を始めています。第1号で来られた留学生の声を、次回お伝えできたらと思います。

▼ 費用負担・補助等

- 1 家族留学：原則として、生活・児童にかかる経費は実親負担
児童一人につき、留学支援補助金月額5万円支給あり（条件あり）
- 2 親戚留学：3親等以内の小学生（1年生～6年生）を自宅に預かり、学校に通わせる制度
（孫・甥・姪が対象。原則として、1家庭2人まで）
委託料は月額8万円（実親：3万円・町助成金5万円）
※8万円以上は、実親の負担

▼ 条件

- 1 地域の自然や環境を理解し、転学を希望する健康な児童
- 2 豊かな体験により思い出づくり等により、第二の故郷を求める児童
- 3 宇宙に拓ける種子島の大自然の中で様々な体験活動を希望する児童
- 4 家族留学（小学1年生から6年生までの児童）

▼ 学校規模・学校の主な行事

○ 南界小学校

- ・ 児童数 19人
- ・ 教員数 10人



←ホームページ
はこちら



←ブログは
こちら

○ 主な行事

- ・ 遠足、修学旅行、宿泊学習（近隣の油久小と増田小と合同で行います。）
- ・ 南界園訪問
- ・ 校内水泳参観
- ・ 校区合同大運動会
- ・ ようこそ大先輩
- ・ 持久走大会
- ・ わくわく発表会
- ・ なわとび大会
- ・ サトウキビ収穫体験

☆ 学校 HP <http://www12.synapse.ne.jp/nankai/>

▼ 問合せ・アクセス

○ 問い合わせ先

中種子町教育委員会 学校教育課
電話番号 0997-27-1111（内線206）
FAX 番号 0997-27-3056

○ 問い合わせ先までのアクセス

- ・ 海の便：西之表港から車で40分
- ・ 空の便：種子島空港から車で15分

岩岡小学校 うみがめ留学

中種子町教育委員会



▼ 特徴・PRポイント(岩岡小学校ってこんなところ)

岩岡小学校は創立137年を迎え、21世紀をたくましく生き抜く児童の育成に家庭・地域と一体となり、教育活動の充実を目指している学校です。キャッチフレーズは「ウミガメと花と一輪車」です。平成14年度から留学制度を取り入れおり、令和7年度で24年目を迎えました。これまでに100名を超える留学生を全国各地から受け入れてきました。

種子島の南西部、長浜海岸線に沿った丘陵地に学校があります。長浜海岸は県内でも有数のウミガメの上陸地であり、夕陽の沈む景観は絶景です。環境教育の一環として、流失や水没の恐れのある長浜海岸に上陸したウミガメの卵を採卵し、子ガメの放流をしたり、ウミガメの生態について学習したりと地域の特色を生かして学習しています。令和4年度からは、「SDGsデー」と称して、毎月1回の海岸清掃の取組も始めました。自分たちのふるさとの景観を守りつつ、現地でのウミガメ上陸跡や産卵場所の確認をすることもできました。

また、全校児童で一輪車の練習も頑張っています。運動会では、全校児童で一輪車の演技を披露し、地域の方も大変喜ばれています。

▼ 留学生の声

Aさん：うみがめ留学に来る前は、あまりウミガメに興味がありませんでした。でも、岩岡小学校でウミガメのことを勉強して、本当のウミガメの赤ちゃんに会えて、また会いたいと思いました。ウミガメの産卵を見に屋久島にも行きました。また産卵が見たいと思いました。夏休みもとっても楽しかったです。海に行って泳いだり、お友達とバーベキューをしたりしました。また岩岡小学校で勉強がしたいです。

Bさん：種子島に来て、学校行事や地域の行事、剣道、野球、サーフィンなどたくさんのことを経験できました。そんな日々を過ごしていたら、もっと岩岡小学校にいたいという気持ちになりました。岩岡小学校で過ごした経験を今後にかせるように、残りの留学生生活を悔いのないように大切に過ごしていきたいです。

▼ 費用負担・補助等

- 1 里親留学：委託料月額8万円（内5万円が町補助金のため、実親負担は3万円）。
その他、児童にかかるもの（給食費や医療費、遠足経費など）の負担あり。
- 2 家族留学：原則として、生活・児童にかかる経費は実親負担。
児童一人につき、留学支援補助金月額5万円支給あり。（条件あり）

▼ 条件

- 1 地域の自然や環境を理解し、転学を希望する健康な児童
- 2 豊かな体験により思い出づくり等により、第二の故郷を求める児童
- 3 宇宙に拓ける種子島の大自然の中で様々な体験活動を希望する児童
- 4 里親留学（小学2年生から6年生までの児童）
- 5 家族留学（小学1年生から6年生までの児童）

▼ 学校規模・学校の主な行事

岩岡小学校は全校児童15名の複式・小規模校です。学校・家庭・地域で連携をとり、心豊かでたくましい子供の育成に努めています。

【主な行事】

ウミガメ学習、ウミガメ採卵や放流活動、SDGsデー（海岸清掃）、水ロケット製作、安納いも植え・いも掘り、親子駅伝大会、もちつき大会、サトウキビ刈り・黒糖作りなどの地域の特色を生かした行事が数多くあります。

☆学校 HP <http://www12.synapse.ne.jp/iwaoka/>

▼ 問合せ・アクセス

○問合せ先

中種子町教育委員会 学校教育課

電話番号 0997-27-1111（内線206）

FAX 番号 0997-27-3056

○問合せ先までのアクセス

・海の便：西之表港から車で40分

・空の便：種子島空港から車で15分

星原小学校 うみがめ留学

中種子町教育委員会



▼ 特徴・PRポイント(星原ってこんなところ)

創立133年を迎える星原小学校は、平成31年から留学制度を取り入れ、これまで7家族12人の留学生を迎えました。豊かな自然，心暖まる地域の人との交流の中で充実した学校生活を送ることができます。主な特徴は以下のとおりです。

- ① すぐ近くの海でいかだ遊びができる。
- ② 星原夏祭りが開催され，思い出づくりができる。
- ③ 西之表市の住吉小学校との合同相撲大会がある。
- ④ 魚釣りや芋掘りなど様々な自然体験ができる。

▼ 留学生の声

Aさん

星原小学校に来てたくさんの経験をしました。初めて手作りのイカダに乗ったときは，風が気持ちよくてとても楽しかったです。校区との合同運動会では，出場する種目が多くてびっくりしました。副団長も務めることになり，少し不安はありましたが，練習を頑張ったので，出場した種目全てを楽しむことができました。星原小の友達は，みんな優しいので，楽しい学校生活を送ることができます。

Bさん

星原小学校に来て，一輪車の練習やバレーボールの練習を頑張っています。ぜんぜん乗れなかった一輪車は，校庭を半周乗れるようになりました。バレーボールの練習はきついこともあるけど，サーブやレシーブができるようになってきました。星原小の音楽室から見える海の景色がわたしのお気に入りです。

▼ 費用負担・補助等

家族留学：原則として、生活・児童にかかる経費は実親負担。

児童一人につき、留学支援補助金月額5万円支給あり。(条件あり)

▼ 条件

- 1 地域の自然や環境を理解し、転学を希望する健康な児童
- 2 豊かな体験により思い出づくり等により、第二の故郷を求める児童
- 3 宇宙に拓ける種子島の大自然の中で様々な体験活動を希望する児童
- 4 家族留学(小学1年生から6年生までの児童)

▼ 学校規模・学校の主な行事

○ 星原小学校

- ・ 児童数 11人
- ・ 教員数 11人

○ 主な行事

- ・ 遠足(海遊び) ・ 釣り体験(クラブ活動) ・ 水泳学習発表会
- ・ 校区合同運動会 ・ 持久走大会 ・ なわとび発表会
- ・ 3校(星原・岩岡・納官)合同宿泊学習・修学旅行

☆学校 HP <http://www.l2.synapse.ne.jp/hoshihara/>

▼ 問合せ・アクセス

○ 問合せ先

中種子町教育委員会 学校教育課

電話番号 0997-27-1111 (内線206)

FAX 番号 0997-27-3056

○ 問合せ先までのアクセス

- ・ 海の便：西之表港から車で40分
- ・ 空の便：種子島空港から車で15分

宇宙留学

南種子町教育委員会



▼ 特徴・PRポイント（南種子町ってこんなところ）

宇宙留学は、これまで1078人の留学生（卒業生も含む）がおり、豊かな自然の中で様々な体験活動を通して心身ともに健康な児童生徒の健全育成を図ることを目的として「宇宙留学生」を受け入れています。

本町の留学制度は、平成8年度に2校22人でスタートし、令和7年度、30年目を迎え、本年度小学校7校、中学校1校46人の留学生を受け入れており、国内トップの留学制度となっています。

1年間限定の留学期間ですが、そのまま定住する御家族も増えてきており、地域の活性化にも繋がっています。大きな特徴は、以下のとおりです。

- ① 町内に種子島宇宙センターがあり、ロケット打ち上げを間近で見ることができる。
- ② JAXAの協力により宇宙やロケットに関する学習体験ができる。
- ③ 極小規模校ならではの地域の特性を生かした体験活動等が充実している。
(地域の伝統文化「棒踊り」「福祭文」等、漁船に乗った磯研修、サーフィン教室 etc)
- ④ 地域密着「里親留学」「親戚留学」、移住定住促進住宅による「家族留学」

▼ 留学生の声

・学校みんなは、ぼくが来てからすぐに仲よくしてくれた。そしてぼくは、ここでしかできないいけんができています。宇宙少年団もとても楽しい。お母さんとはなれているのはさみしいけど、みんながやさしくしてくれるのがうれしい。(里親留学生)

・ロケットの打ち上げを見たくて留学を希望したけど、留学に来たことでいい仲間と出会えてよかった。

・他学年の友達とも仲良くなれたことが一番うれしかったです。全校給食や全校遊びなど、学年を越えて学校全体でいろいろな活動を行うのが新鮮でした。また、海や屋久島を眺めながら登校したり、海水をくみに行くところから始まる塩づくりの学習をしたり、クラブ活動で釣りをするなど、海が目の前にある学校ならではの体験がたくさんあり、毎日がドキドキでいっぱいです。

▼ 費用負担・補助等

- 1 留学期間
原則として1年間
- 2 留学の種類
里親留学（小2～中3）、親戚留学（小1～中3 町内に居住する3親等以内の親戚）
家族留学（小1～中3）
- 3 経費
里親・親戚留学 10万円（実親負担金5万円、町助成金5万円）
家族留学 5万円（町助成金5万円）
- 4 その他
 - ・ 給食費無償、医療費無償
 - ・ 家族留学は、令和6年度に新築された移住定住促進住宅に居住。
各校区の学校の近くにあり、2階建てで、4～6世帯の住宅に住宅は、エアコン、
主な家電製品、Wi-Fi等設備済。

▼ 留意点

- 応募をする際は、子供はもちろん、ご家族の総意(祖父母にも)のもとで決断してください。一年間留学をよりよく進めるサポーターとなってくださいます。
 - 毎年、多くの方から応募していただいております。申し込み多数の場合、選考となりますので、ご了承ください。また、留学先の学校は、こちらで割り振ります。
 - 留學生の決定通知後の辞退はご遠慮ください。選考から漏れた方々、心待ちにしていた里親の方・学校・地域住民に迷惑がかかることになります。
- ※詳細は、HP

▼ 学校規模・主な学校行事、留学連絡協議会事務局行事

- ◇ 学校規模
小学校8校【1校：約150人（中平小） ※ 中平小の留学は、里親留学のみ
7校：約15～30人（荃南小、西野小、大川小、島間小、平山小、
花峰小、長谷小） ※ 児童数は宇宙留學生込み】
中学校1校【約150人（南種子中）
- ◇ 主な行事
 - ・ 宝満神社御田植祭 ・シーカヤック ・御崎神社大祭（棒踊り奉納） ・稲刈り
 - ・磯研修（漁船による遊覧） ・PTAいかだ下り ・サーフィン教室
 - ・種子島宇宙センター特別ツアー ・たんかん狩り

▼ 問合せ・アクセス

南種子町教育委員会管理課・宇宙留学連絡協議会事務局
TEL :0997-26-1111 内線(222 223)
Mail : hope@town.minamitane.lg.jp

HP: <http://www.town.minamitane.kagoshima.jp/education/ucyuryugaku.html>
南種子町役場「宇宙留学」

かめんこ留学（永田小）

屋久島町教育委員会



▼ 特徴・PRポイント

- かめんこ留学は、平成9年度から始まった山海留学制度です。永田のよさは、何といても自然。島で唯一里から望むことができる奥岳「永田岳」、ウミガメが来る「いなか浜」、川や田園風景、どの季節もどの時間帯も美しく癒やされる地域です。
- 少人数ならではの特性を生かし、みんなが兄弟のように仲良く学校生活を送ったり、きめ細やかな学習指導を受けたりすることができます。
- 永田川でいかだを漕ぐ「いかだレース」や学校から徒歩圏内にある前浜での「浜レース（持久走大会）」など、地域の自然を生かした学校行事があります。
- 一つの集落で校区が形成されているので、全員が徒歩で登校しています。放課後や休日は校庭で遊ぶ姿がよく見られます。

▼ 留学生の声

【子供たち】

- ・ウミガメが見られた。 ・海でいっぱい遊べたし、流れ星が見られた。
- ・行事がいっぱいあって楽しい。 ・水泳練習がたくさんできた。
- ・留学生同士の交流を通して全国に友達ができたと、体力がついた。
- ・前の学校にはない行事をたくさん経験できた。

【保護者】

行事が多く、小規模校のため一人一人の負担が大きい部分もありますが、先生方の手厚いサポートのおかげで学力が伸び、体力がかなりついたと感じています。海で泳いだり、川でエビやハゼを捕って食べたり、浜で亀や星空を観察したり、毎日が夏休みのような日々は、子供たちにとってかけがえのない経験となりました。

▼ 費用負担・補助等

- 留学助成金：月額4万円（第二子以降は月額2万円）
- 里親への委託料：月額7万円（実親負担3万円）
- その他の負担：給食費，PTA会費，教材費等の留学生児童生徒に関わる経費は実親負担

▼ 条件

【屋久島】

- 町外に在住の小学1年生から小学6年生
- 地域や学校の環境及び伝統等を理解し転入を希望する児童。
- 世界自然遺産の大自然の中で，環境学習等に関心を持つ児童。

【口永良部島】

- 小学生から中学生までの児童生徒
- 豊かな思い出と創造により第二のふるさとを求める児童生徒。
- 口永良部島の火山噴火を認識し，自然の雄大さや命の尊さへの理解を深め火山と共に共存していける児童生徒。

▼ 学校規模・学校の主な行事

屋久島町立永田小学校

児童数 14 名，職員数 8 名（R7年度）

主な学校行事

- 幼小合同大運動会
- 幼小合同学習発表会
- いかだレース
- 浜レース（持久走大会）
- 屋久島一周駅伝（PTA 行事）

☆学校ブログ

<https://blog.canpan.info/nagata-es/>

永田小
Instagram



永田小キャラクター
「ながたん」

▼ 問合せ・アクセス

屋久島町教育委員会教育総務課（屋久島町山海留学連絡協議会事務局）

TEL：0997-43-5900 FAX:0997-43-5905

メール：kyouiku@town.yakushima.kagoshima.jp



屋久島黒潮留学(一湊小学校)

屋久島町教育委員会



▼ 特徴・PRポイント

- ・ 自然の豊かさと厳しさ、人の温かさと人々が紡いできた歴史と文化、五感を存分に使って生きる喜びを感じながら成長できる環境です。祭りや運動会、綱引きなど、地域のみんなで団結して協力して交流して絆を大切にしながら楽しめます。
- ・ 地域ボランティアのみなさんが運営する学童保育があります。ただの見守り活動ではなく、椎茸の駒打ちや餅つき、川遊びなど四季折々のイベントが目白押しです。

▼ 留学生の声

私たち家族が屋久島に来たのは約3年前、ちょうど11月中頃に初めて家族で来島しました。

屋久島ってどんなところなんだろう、友達はあるのかな、集落にも馴染めるのかな、など様々な期待と不安がありました。

しかし、そのような不安は杞憂なもので実際移住してくると、同じ学校のご家族や集落の方が温かく迎え入れてくださり、子どもたちはもちろんのこと、私たち親もすぐに打ち解けることができました。

私たち親子は一湊が大好きなので、今は留学制度が終わっても住み続けています。一湊には私たちと同じように、この町が気に入り留学制度が終了しても引っ越さずに住んでいるご家族が何組もいらっしゃいます。都会だとなかなか難しい自然との触れ合いや、地域の方々とのコミュニケーションが一湊にはあります。

皆様にもお会いできますことを楽しみにしております。

- ・ 先生たちみんながわが子に声をかけ、見守り、丁寧に接してくれるので、子供たちが安心して学校に通える。
- ・ 地域の方たちが、集落に子供がいることを喜んでくれて、温かく見守ってくれるので、子育てしやすい。
- ・ 大人も子供も本気になれる行事がたくさんあって楽しい。

▼ 費用負担・補助等

- 留学助成金：月額4万円（第二子以降は月額2万円）
- 里親への委託料：月額7万円（実親負担3万円）
- その他の負担：給食費，PTA会費，教材費等の留学生児童生徒に関わる経費は実親負担

▼ 条件

【屋久島】

- 町外に在住の小学1年生から小学6年生
- 地域や学校の環境及び伝統等を理解し転入を希望する児童
- 世界自然遺産の大自然の中で，環境学習等に関心を持つ児童

【口永良部島】

- 小学生から中学生までの児童生徒
- 豊かな思い出と創造により第二のふるさとを求める児童生徒
- 口永良部島の火山噴火を認識し，自然の雄大さや命の尊さへの理解を深め火山と共に共存していける児童生徒

▼ 学校規模・学校の主な行事

- ・ 全校児童34人（令和7年度）の小規模校です。小規模の良さを生かし、全員で遊んだり、上学年の子供が下学年の子供に教えたり、互いに助け合ったりしながら成長しています。
- ・ ウミガメの産卵の観察、採卵、人工ふ化、卵と子ガメの計測・統計、放流する活動などをおしてSDGsをはじめとする環境教育に取り組んでいます。
- ・ 地域のみなさまが、川や海での遊び方や水難防止、魚の種類や取り方・食べ方、一湊の文化や歴史、環境のことなど、様々なゲストティーチャーとして登場します。

☆学校 HP

<https://sites.google.com/kago.ed.jp/issoelementaryschool/%E3%83%9B%E3%83%BC%E3%83%A0>

▼ 問合せ・アクセス

屋久島町教育委員会教育総務課（屋久島町山海留学連絡協議会事務局）

TEL：0997-43-5900 FAX:0997-43-5905

メール：kyouiku@town.yakushima.kagoshima.jp



はちまん じょうもん留学(八幡小)

屋久島町教育委員会

【幼稚園と芋掘り】



【アクティブレンジャーと学習】



【合同運動会】



【授業参観】



【川遊び】



▼ 特徴・PRポイント

八幡小児童増対策委員会（じょうもん留学）

八幡小学校は、「豊かな体験と豊かな学び」ができる学校です。3・4年生は「世界自然遺産屋久島」について、環境省のアクティブレンジャーと共同で、平成20年から学習を行っています。5・6年生は、米づくり体験学習を種籾から、稲刈り、脱穀まで、地域の方の協力をもらって学習を進めています。学校の校庭は広く、昼休みや放課後は、子どもたちがサッカーなどをして元気いっぱい遊んでいます。

学校では、毎月1回保護者の方に集まっていたいで保護者会を実施し、子どもの様子を実際見てもらったり、保護者どうしの情報交換をしてもらったりしています。参加者は、対策委員会会長、PTA会長、留学生保護者で、補助金の交付も行っています。

子どもの様子は、幼稚園も含めて、全学年授業参観をしてもらっています。また、情報交換は各家庭の近況報告をしていただき、地域行事のことから、家の事情、買い物情報など生活全般にわたります。年度末が近づいてくると、次年度に向けての相談などもあります。

留学生家族ならではの話もあり、和気あいあいとした雰囲気の中で、情報交換ができています。

▼ 留学生の声

- ・イギリスの学校ではなかった掃除の時間があり、掃除が上手にできるようになった。
- ・新しい学校の友達や、ソフトボールの仲間ができてよかった。
- ・海や川、山登りなど思いっきり遊べて楽しい。

▼ 費用負担・補助等

- 留学助成金：月額4万円（第二子以降は月額2万円）
- 里親への委託料：月額7万円（実親負担3万円）
- その他の負担：給食費，PTA会費，教材費等の留学生児童生徒に関わる経費は実親負担

▼ 条件

【屋久島】

- 町外に在住の小学1年生から小学6年生
- 地域や学校の環境及び伝統等を理解し転入を希望する児童。
- 世界自然遺産の大自然の中で，環境学習等に関心を持つ児童。

【口永良部島】

- 小学生から中学生までの児童生徒
- 豊かな思い出と創造により第二のふるさとを求める児童生徒。
- 口永良部島の火山噴火を認識し，自然の雄大さや命の尊さへの理解を深め火山と共に共存していける児童生徒。

▼ 学校規模・学校の主な行事

- 八幡小学校（R7.11月現在）
 - ・ 児童数 61名
 - ・ 職員数 15名
- 主な行事
 - ・ 幼小合同運動会
 - ・ 学校農園体験活動（さつまいも・じゃがいも）
 - ・ その他（詳しくは，八幡小学校ブログをご覧ください。）



（ブログ QR コード）

☆学校ブログ

<https://eshachiman.synapse-blog.jp/hachimanes/>

▼ 問合せ・アクセス

屋久島町教育委員会教育総務課（屋久島町山海留学連絡協議会事務局）

TEL：0997-43-5900 FAX:0997-43-5905

メール：kyouiku@town.yakushima.kagoshima.jp

